

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和3年度事業点検・評価調書

5-Ⅱ-3

5-Ⅱ-3

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	伝統文化の記録保存と情報発信
節	Ⅱ. 伝統文化・地場産業の振興	事業主体	佐渡市社会教育課
事業(施策)名	3 伝統文化記録保存	関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡文化財団
事業実施期間	H28～R4		
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の伝統文化の映像記録保存により、伝統文化の保存継承を図る。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 島内各地で行われている祭りや地域の伝統文化・伝承を映像により記録保存を行い、地域文化のデータベースを構築する。 <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ データベース化された「佐渡芸能アーカイブ」を活かすため、佐渡文化財団等と連携しながら新たな記録保存を進め、それらをアーカイブに掲載していく。祭り等芸能動画掲載数35本。 		
これまでの取組実績	<p>H29年度～30年度にかけて、佐渡の伝統芸能を網羅的に記録保存するための「伝統芸能アーカイブ」を制作した。</p> <p>H31年度以降は、新たな資料の掲載だけではなく、情報発信コンテンツとしての活用や教育用コンテンツとしての活用、観光用コンテンツとしての活用など、単なるデータの蓄積ではなく多方面に結びつけた利活用を図り、伝統芸能の保存継承に寄与するコンテンツとしている。</p>		
事業計画と実績	<p>【R3年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 佐渡文化財団と連携し、佐渡民謡の祝祭イベントや人形芝居団体調査などの伝統芸能担い手育成にむけた取り組みに合わせた伝統芸能の記録保存を進める。 <p>【R3年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人形芝居団体調査の一環として開催した「佐渡人形芝居上演会」において、記録保存のために舞台正面映像だけではなく、太夫の三味線映像や舞台裏からの人形遣いの動きを映像として記録した。 		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、伝統芸能や集落に伝わる神事芸能等の活動の多くが自粛され、記録保存や地域文化のデータベース化が進められない状況である。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 新しい生活様式に基づくイベントや集落芸能の実施に向けて、先進事例や他団体の優良な取り組み事例を広く情報発信し、文化行事の実施や活動意欲の向上、記録保存の機会の増加に繋げていく。 		
事業評価	<p>【ゴールに対するR3末の達成度】 ◇ 人形芝居団体を集めた上演会を開催することで、活動機会が減少していた団体の活性化及び貴重な記録映像の保存に繋げることができた。特に太夫は担い手不足が深刻であり、出演した太夫全ての記録を保存できたことは将来的な継承者の育成、復活に有効となるものである。これらのことから、予定通りの進捗であると評価した。</p> <p>{ A・B・C }</p>		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。